議題24

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="4">□新　規　　■ 再提案　（R４・４・14 第150回総会；長野市）</td></tr>
<tr><td>種類</td><td colspan="2">■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの
□ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの
□ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの
□ その他（　　）</td><td>分野</td><td>■ 総務文教
□ 社会環境
□ 経済
□ 危機管理建設</td></tr>
<tr><td rowspan="3">要望先</td><td>□ 国</td><td>担当省庁</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>■ 県</td><td>担当部局課室</td><td colspan="2">教育委員会　心の支援課</td></tr>
<tr><td>□ その他</td><td>名　　称</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>**件名**</td><td colspan="4">**スクールソーシャルワーカーの拡充について**</td></tr>
<tr><td>**提案市**</td><td colspan="4">安曇野市</td></tr>
<tr><td>**提案要旨**</td><td colspan="4">県費のスクールソーシャルワーカー（以下「ＳＳＷ」という。）の派遣について、市町村への派遣人数の増員と活動配分時間の拡大、また、県における広域的な活動の視点から、情報共有のためのネットワークの構築を要望する。
加えて、人材育成のため、各市町村が任用しているＳＳＷも参加可能なスキルアップ研修の開催を要望する。</td></tr>
<tr><td>**提案理由**</td><td colspan="4">ＳＳＷの活動の重要性が増している中で、様々な課題を抱える児童生徒の増加により、その活動配分時間が十分とは言えない状況である。
また、中学校卒業後の進路は広域的な選択もあることから、全県でのＳＳＷ間の情報共有のためのネットワークができれば、より効果的な支援に繋がることが期待できる。加えて、市のＳＳＷが県で主催する研修等にも参加可能となると、スキルアップが図られ、人材育成が進むと考えられる。
現在、ＳＳＷの役割が拡大しており、人材も不足している。</td></tr>
<tr><td>**現況及び課題等**</td><td colspan="4">本市の不登校児童生徒は、県全体の不登校児童生徒数と同様に増加しており、様々な課題を抱える児童生徒に対してＳＳＷの役割がますます重要となっている。
各小中学校では、児童生徒への早期支援を目指して、心理検査や「アセス（学校環境適応感尺度）」、スクリーニング会議等を通して、児童生徒理解や状況把握を深めている。その際、ＳＳＷによる専門的な視点からの助言は、大変有難く有意義であり、児童生徒の効果的な支援に繋げることができている。現在は、県の派遣２名と市の委嘱２名の計４名が活動しているが、支援要請の増加により活動配分時間が十分とは言えない状況である。</td></tr>
<tr><td>**関係法令**</td><td colspan="4">文部科学省「不登校児童生徒への支援の在り方について」令和元年10月</td></tr>
</table>